



# 測る

～ゲージコンタクト～

Since 1973

ゲージコンタクト(測定子)は、円筒研削盤を用いた加工現場では無くてはならない、計測ツールのひとつです。加工されるワークに合わせて全てをオーダーメイドで製造しています。また接触(測定)部は天然ダイヤモンド、焼結体ダイヤモンド(PCD)、超硬の中からお客様の用途に合わせてお選び頂け、ご希望のチップ形状にR研磨します。加工精度は0.001mmまでが可能で、受注から出荷まで最短約3週間、1本単位で製造しております。現在、工作機メーカー、電子部品メーカーベアリングメーカー等でご採用を頂き、ご好評頂いております。

## ○用途に合わせて3種類のチップの中からご提案

- 1 天然ダイヤモンドチップ
- 2 焼結体ダイヤモンド(PCD)チップ
- 3 超硬チップ

1ヶずつ不純物の少ないダイヤモンドを選び分け、耐磨耗方向を見極めたうえでゲージコンタクト用に製造しています。比較的小求めやすいモデルです。

ジコーがご推奨するモデルです。天然ダイヤモンドチップと異なり、磨耗に対する方向性が無いので、安定した寿命でご使用頂けます。

ジコーでは、超硬材を独自の機械で、チップ形状に鏡面加工をしています。主に硬度の低い測定物専用のモデルとなっています。



# 削る

～電着ダイヤモンドバー～  
(D I A & C B N)

Since 1978

シャンク(軸)加工から、電着までを一貫生産しています。シャンクは1本ずつ手作業でマスキングをし、お客様のご要望に合わせてダイヤモンド(またはCBN)砥粒を電着しております。ダイヤモンドバーは、数万から数十万回転といった使用環境にさらされる為、中間検査にも一切の妥協がありません。電着工程においては、季節や天候で変化するめっき液を独自の管理機器で常に監視し、品質の維持に努めています。

## ○電着技術が切削力を決める

ジコーでは、さびにくく、磁性を帯びにくいステンレスをシャンクに採用しています。また砥粒が電着された状態での形状、めっき厚、ダイヤモンドの集中度の均一性を徹底しているため、安定した寿命と、高い加工性により、思い通りの加工を可能にします。



弊社製



他社製

歯科用バー  
[医療機器許可番号:28B3X00021] **JICO-MAX®**

F Gタイプ(軸径φ1.6mm・治療用)とHPタイプ(軸径φ2.34mm・技工用)の2タイプの製造許可を1981年(昭和56年)に取得しました。現在、登録件数が約2,000品番あります。また自社ブランドとしてJICO-O-MAXシリーズがございます。

工業用ダイヤモンドバー

現在約5,000品番を製造しています。軸径はφ1.6mm・φ2.34mm・φ3mm・φ6mmの4タイプを定番としています。砥粒は天然ダイヤモンド(#45～#1000)8種類、合成ダイヤモンド(#100～#325)5種類、CBN(立方晶窒化ホウ素)(#80～#600)8種類の計21種類を随時有り、お客様の用途に合わせてご提供致しております。また特注品も10本から承っております。